



<校訓>
敬愛 自主 剛健

未来橋

令和7年5月

高浜町立高浜中学校

Takahama Junior High School



新たな目標を掲げ、充実した1年に

木々の芽吹きが山々を色鮮やかに彩り、軒下ではツバメが巣作りを始めるなど、新たな生命の息吹を感じる時節となりました。1年生も、少しずつ中学校生活に慣れ始め、新たな仲間との学びを楽しむ姿が見られます。

生徒一人一人が高い志を持ち、仲間とともに充実した学校生活を送れるようにとの願いを込めて、学校がめざす目標や重点、具体的な取組を「スクールプラン」として策定しました。特に「授業づくり」と「集団づくり」を取組の重点に据え、主体的に学び、心豊かな生徒の育成を目指して取り組んでまいります。

(詳細はホームページに掲載)

令和7年度 スクールプラン

【学校目標】

「志高く、自己を磨き、仲間と共に高め合う生徒の育成」

【重点目標】

<確かな学力>

- 主体的・対話的とともに学ぶ楽しさを味わえる授業づくり
- ICTの有効活用と指導法の工夫

<豊かな心>

- よりよい自分や学校を創るための自治的・自発的な生徒会活動の充実
- 道徳教育・人権教育の推進

<健やかな体>

- 自己健康管理能力の向上
- 「いのち」を尊重した教育の推進

<地域社会に開かれた学校>

- 地域の人材・教育資源を活用した企画提案型探究学習の充実

前期生徒会が本格的にスタート

生徒会認証式において、生徒会長は前期のテーマを「SHINKA」と定め、その中に込めた6つの願いについて力強く語り、意気込みを発表しました。さらに「この後に行われる生徒総会でも提案を行い、出された意見を生かしながら、生徒会活動をより充実させていきたい」と、今後への決意を述べました。

これからの活動がどのように展開されていくのか、期待を込めて見守り、応援していきたいと思います。



テーマ 「SHINKA」

- 1 新化 … 生徒会をバージョンアップする
- 2 伸化 … 互いの力を高め合う
- 3 進化 … 目的をもって着実に前進する
- 4 心化 … 自分や仲間を大切にする
- 5 信化 … 仲間を信頼してやり抜く
- 6 深化 … 人任せにせず主体的に関わる

<具体的なアクション>

①「あいさつ運動」を SHINKA

⇒ 朝に加えて、日常生活においてもあいさつのつながりをつくる。

②「生徒心得」を SHINKA

⇒ 心得の見直しを通して、よりよい学校生活について全校生徒が考える。

③「学校祭」を SHINKA

⇒ 新たな学校祭に向けて、全校生徒の知恵と力を結集して絆を強める。

休日部活動の地域移行(展開)に向けて

現在、国の方針を受け、休日に実施している部活動の地域移行(展開)を教育委員会と連携しながら進めています。本年度は、本県が目途として定めた移行期間の最終年度にあたり、教員が指導・引率する休日の部活動は、月1回以内の実施としています。

令和8年度以降は、休日の部活動は地域活動として位置づけられ、教員が引率・指導することは原則としてなくなります。そのため、休日に部活動を行う場合は、地域の指導者と保護者の協力によって運営されることになります。また、部活動に限らず、近隣地域のクラブ活動や教育委員会主催のプログラム、個人の習い事など、平日の学校部活動とは異なる多様な活動への参加も可能です。

8月には、次年度に向けた部活動ごとの懇談の場を設け、休日の運営について協議を行う予定です。これまで、教育委員会と協議を重ねながら、生徒や保護者を対象とした意向調査や説明会を実施してまいりました。今後は、地域の皆さまにも何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<休日部活動に関する懇談会>

- 期 日 8月18日(月) 18:00~19:00
- 場 所 高浜中学校 多目的教室他
- 内 容 全体会・・・休日の部活動について (教育委員会事務局)
懇談会・・・各部活動ごと(1・2年生保護者、地域指導者、顧問教員)

<部活動のようす>



各部活動の紹介(1年生対象)



体験入部(各部活動)



嶺南吹奏楽フェスティバル

社会の変化に対応したPTA活動について

～ 公募型PTA活動の実施にあたって ～

昨年度、PTA役員により、今後のPTA活動のあり方について検討を行い、組織の目的や活動の意義を改めて確認しました。その中で、核家族化や共働き家庭、ひとり親家庭など、社会の変化や多様な家庭環境に配慮し、持続可能で主体的な活動への改革を目指して協議を重ねてまいりました。

本年度は、その取組の一環として、先日書面決議にてご承認いただいた通り、以下のように活動を進めてまいります。改めて皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

- 従来の「指導部」「教養部」「広報部」の3部体制は見直し、「事業部」のみの新体制とする。
- 定例のテーマや活動内容は予め設けず、事業部役員が協議のうえ決定する。
- 事業の実施にあたっては、会員より有志やアイデアを募り、協力を得ながら進める。